

有田川町議会広報
かわら版

平成19年8月発行

第6号

発行 有田川町議会
住所 和歌山県有田郡有田川町
大字下津野2018番地4
郵便番号 643-0021
電話 0737-52-2111
FAX 0737-52-2198
<http://www.town.tagawa.lg.jp/profile/gakakcho.html>



さがり滝:上湯川地内(写真提供:西本登信氏)

もくじ

平成19年度補正予算等	2 ~ 4
町長にもの申す(一般質問).....	5 ~ 19
意見書・編集後記等	20

繰上償還など一般会計補正額 7億4,852万円 金屋中学校大改修の契約に 3億4,415万円

専決処分の承認

平成19年第2回定例会は6月12日から26日までの日程で開催されました。本定例会には報告19件、平成19年度補正予算、条例の一部改正、工事請負契約などの議案を審議し、すべて原案の通り可決しました。

◎平成18年度一般会計補正予算(報告)

正予算(報告)

昭和50年代の消防車の老朽化に伴い清水で8台、金屋で2台購入すると聞いている。あと清水で4台、金屋で2台残るが、今後の購入計画はどうか。

総務課長

軽の積載車を、清水で8台、金屋で2台予定。残りは順次整備していく。また県単独で今年1台(清水分)を要求している。

◎有田川町税条例の一部を改正する条例(報告)

町長

上場株式等を譲渡した場合の株式等に係る譲渡所得等は町民税の課税の特例で、普通なら3%課税できるが、減税

策で1.8%の税率になる。有田川町においての試算はどうか。

税務課長

有田川町で3%の率で510万円、これが1.8%の率で306万円となり、その差が軽減額の204万円減となる。

◎ふるさと開発公社18年度事業報告並びに19年度事業計画(報告)

町長

19年度の計画では、健康館で400万円余り、ふれあいの丘で500万円余り、宿泊白馬で360万円の収入増を見込んでいるが、見通しは大丈夫か。

町長

ふるさと開発公社は経営コンサルタントをいれ、数年後には、各施設で黒字になる方向で努力している。しかし施

設の中で何年たつても利益が出ない施設もある。そこは閉鎖も考えなが

ら、できるだけ健全運営ができるよう努力する。

◎平成19年度補正予算

(単位 千円)

項 目	補正前の額	補正額	計	摘 要
一 般 会 計	16,207,000	748,527	16,955,527	都市計画総務費、繰上償還金他
老人保健事業特別会計	4,183,906	107,168	4,291,074	前年度繰上充用金
介護保険事業特別会計	2,042,930	3,000	2,045,930	介護予防サービス給付費負担金他
農業集落排水事業特別会計	301,094	1,818	302,912	工事請負費他
公共下水道事業特別会計	1,794,470	900	1,750,370	測量設計管理料他

質疑

地域交流センターと水辺の公園事業はその後、事業費がどのように推移しているか。

また地域交流センターでおこなう、社会教育等の事業計画はどうか。

社会教育課長

平成18年度は、地域交流センターだけで、2356万円、2333円を支出。19年度は、交流センターの遺跡発掘調査費3500万円、交流センターの用地費5000万円、建築費で6500万円を見込んでいる。交流センターの利用は、町民が気軽に利用できる文化情報交流拠点として水辺の公園と一体となった憩いの場を提供する。

交流センターの主な中身は、交流スペースとしてオープンテラス、併設して図書、資料の閲覧・貸し出し等を行う。また企画・展示室スペースも設け、常時展示方式でな



有田川町議会購入予定の消防ポンプ自動車(類似車両)

く、月代わり等での企画展示をしたい。また各研修室を設ける。

更に近隣地域の集会所の併設や生石高原天文台の望遠鏡を交流センターへ移設したい。

◎条例の改正・変更・廃止
・有田川町職員の旅費に関する条例の一部を改正
・有田川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正

・有田川町水道事業及び簡易水道事業の設置及び

び管理に関する条例の一部を改正

・有田川町福祉バス運行に関する条例を廃止

・和歌山県市町村職員退職手当事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び和歌山県市町村職員退職手当事務組合規約の変更

・和歌山県市町村非常勤職員公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の増加及び和歌山県市町村非常勤職員公務災害補償組合規約の

変更

・有田川町下水道事業受益者負担金条例の制定

◎道路線の廃止認定・神楽山緩断線他10路線
(廃止3路線・認定8路線は主に高速4車線化に伴うため)

◎契約及び財産の取得

・消防ポンプ自動車3台

・有料指定ゴミ袋購入

質疑

ゴミ袋の契約金額が1593万円、町民への販売価格が約3283万円、この差額の内訳はどうか。

利益の還元、環境によい袋代の見直し、袋の種類の簡素化、収集方法の検討を求めらる。

環境衛生課長 今回の入札分で売上料金は、3283万3500円。また今回販売手数料として商工会や小売業の方へ948万1500円となり、730万8735円が町に残っている。これは他のゴミ処理経費の一部に使われる。袋の種類は簡素化については、しばらくこのままでいきたい。

ピン・缶・ペットの収集



5品目の指定袋

方法は、現在のところは5品目でやっていきたい。

町長 ゴミ袋は、今後様々な方向で出しやすく、安い方法で検討する。

質疑 ゴミ処理経費の一部に還元されるといって730万円は、具体的にどういうことに使うのか。

環境衛生課長 730万円は次のゴミ袋購入費用や各区のゴミ集積場の設置補助金、あるいは資源ゴミ減量実践会への助成等、様々な方向で使う。



金屋中学校

- 工事請負契約
- ・吉原地区簡易水道施設整備工事
- ・一ツ松工区管渠布設工事(第7工区)
- ・金屋中学校地震補強大規模改造工事
- ・金屋中学校地震補強大規模改造(電気設備)工事
- ・金屋中学校地震補強大規模改造(機械設備)工事

【工事】

耐震診断が残っている小・中5校については、最優先に取り組んでいただきたい。

また工事は地元の業者

を通じてやっていただきたい。材木の利用については、設計の段階で地元材の利用を明記し、有田川町産木材の使用を求めらる。

【町長】

学校の耐震は、今後、最優先課題として取り組む。また地元木材をはじめ紀州材を使用していきたい。

業者は、できる範囲で地元業者に発注したい。

○辺地総合整備計画の変更について

- ・田角地区簡易給水施設
- ・鷲ヶ峰線改良工事

○辺地総合整備計画の策定について

- ・下六川釜中線改良工事
- ・林道遠井堂鳴海線舗装工事

○土地の取得

- ・風力発電用地として、大賀畑(吉備地区)の山林28haを1410万円取得

【議員5年以上】

和歌山県町村議会議長会
自治功労者表彰



亀井 次男 氏
(59歳)

亀井次男氏は、5年以上にわたり議会議長として地方自治の振興発展に寄与された功績が認められ、和歌山県町村議会議長会より表彰されました。

全国町村議会議長会
自治功労者表彰

【議員15年以上】



林 道種 氏
(72歳)

林道種氏は、15年以上にわたり議会議長として地方自治の振興発展に寄与された功績が認められ、全国町村議会議長会より表彰されました。

【議員11年以上】



湊 正剛 氏
(66歳)

湊正剛氏は、11年以上にわたり議会議長として地方自治の振興発展に寄与された功績が認められ、和歌山県町村議会議長会より表彰されました。

平成19年和歌山県知事表彰

【地方自治】



大岡 憲治 氏
(59歳)

大岡憲治氏は27年以上にわたり議会議長として地方自治の振興発展に寄与された功績が認められ、和歌山県知事より表彰されました。

町長にもの申す



中山町長

一般質問

こんなことが取り上げられました

登壇順	質問議員氏名	質問事項
1	橋部重計	・6月8日、9日の雷雨・雹による被害対策について ・町立第3保育所の移転改築について
2	佐々木裕哲	・藤並駅及び吉備インターの改名について
3	前勢利夫	・町財政運営について ・林業振興について ・公共事業とその入札について ・山間部における急傾斜地対策を問う
4	森本明	・明恵峡温泉の経営改善計画進捗状況は
5	殿井堯	・町内3温泉の経営状況と今後の経営改善計画について ・廃プラ入札後の経過について
6	岡省吾	・町民の相談には十分な配慮を ・「頑張る地方応援プログラム」への取り組みについて
7	東武史	・町のマスコットキャラクターを公募し、観光にも活用すべきでは
8	尾上武男	・藤並駅改築について ・地域交流センター、水辺の公園及び鉄道公園計画について
9	坂上東洋士	・鷹の被害についての対策要望について ・訴訟の件について、現状報告 ・明恵峡温泉についての要望 ・成人式の時間設定の結果について ・砂利採取の取り組みについて
10	堀江真智子	・子育て支援の取り組み ・プライバシーの保てる相談室の設置 ・小中学校の校務員の配置について
11	西弘義	・資源ゴミの収集について
12	浦博善	・技術職員の育成強化が必要でないか ・指名競争入札における指名業者選定に対する疑問
13	湊正剛	有田川、鳥尾川の河床と堤防強化について
14	増谷憲	・長期総合計画と新町建設計画とのかかわりはどうか ・住民税増税などの負担増について ・6月8日、9日の暴風雨・雹による農作物への被害対策と国道424号、修理川地内の土石流対策を ・急傾斜対策について ・コミュニティバスの試行運行から正式な運行について ・道路整備の進捗状況や側溝対策について

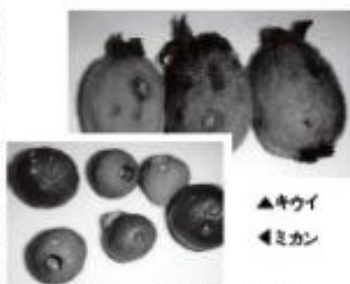
ひょう 雹、雷雨による被害対策は 第3保育所の改築計画は



桶 部 重 計

農作物の被害状況は

質問 去る6月8日夜の強風と雷雨、そして9日昼11時過ぎ突風を伴った雹が降り、みかん類等の農作物に傷ができ被害は甚大である。町内では特に石垣地域のみかん、キウイなどに全滅の畑も見受けられるが、調査状況はどうか。



被害にあった果実

町長 今回の降雹は、吉見、奥、奥徳田、吉原、歓喜寺、松原、糸川地区周辺の被害が甚大。また、修理川、長谷川、小川、中井原、川口、栗生地区でも被害が発生している。現在の調査結果で

土砂災害対策

は柑橘類約500ha、被害減収量約7千t、被害金額7億9千万円を見込んでいる。今後の育成状況によって被害の増大も否めない。その他の果樹、野菜は約22ha、160tの減収。被害金額は4千8百万円と推計している。早急に支援策を講じる必要があると認識している。県、振興局と協議しながら、本年度新設された低利の農林業セーフティネット資金を活用できるよう取り組んでいく。

質問 今回の風雨により国道424号線、修理川内での災害は土石流が3カ所、道路車線が土砂に埋まり全面通行止めになった。6月は土砂災害防止月間である。万全の対策を取らねえか。

町長 6月9日の午後において電混じりの豪雨により、谷川から流れ

受入施設への保安対策

出した木くずや土石が国道を横断しているヒューム管を詰まらせ、路面へ土砂が流出。家屋2戸の倉庫へ泥水が流入した。応急対策を行い、地区の消防団員の協力のもと、通行止めを解除することができたが、今後大雨のおそれも予想されるので県と協議を希望对応したい。

質問 平成10年度の石垣中学校の建設とともに、町のテレビ電波障害対策として共同アンテナによる受信施設として付近22戸に保安器を設置しているが、合併後の保安維持管理はできているのか。

教育長 雷等の原因でブースターの故障が起きることが多い。素早い応急対策を取れるように地元業者にお願ひし、町で責任を持って対応したい。

第3保育所の改築は

質問 妙見池東側約5千㎡を埋め立て、造成後の建築予定計画の説明を求める。



第3保育所建設予定地の妙見池

町長 移転改築の見通しは周辺整備の設計もできあがり、埋め立て費用も計上している。19年度中に造成する予定であるが、池の水の利用が終わる10月頃の着工となる。埋め立て土砂は、長峰トンネルの採掘した土砂を持ってきてもらうよう交渉中である。建築は近々入札の予定だが、平成21年度建築を完了したい。



藤並駅及び吉備インターの改修は

佐々木 裕 哲

質問 藤並駅は来年3月末の完成を目指し、9億3千万円の町費をもって新しい駅舎に特急を停車させるということで建設している。また高速道路も吉備インターまでの4車線化工事を、平成24年3月末の完成に向けて進めているが、駅名及びインター名を改名する計画があるのか。

改名は「良い悪い」ということでなく、地域の方々が心の問題として、どうとらえるかということだと思う。藤並という名は10世紀頃の「藤並荘」から由来し、駅名も大正15年紀勢西線が藤並までの開通に伴い、81年間親しまれてきた。「吉備」の名も奈良時代からの地名である。平成の市町村合併により駅名、インター名が改名したことはない。それは費用とメリツトの関係があるからだ。駅改名に約5千万円、イ



4車線化が待たれる吉備インター

ンター改名に約8千万円ともいわれている。財政が苦しい中、改名する必要があるのか。駅舎新築、特急停車は地域の方々が利用者にとって地域発展や経済的なメリツトはあるが、改名したからといって利用者が増えることはない。改名にお金を使うなら周辺整備に使う方法もある。藤並駅の地元区をはじめ、住民の方々が変えないでほしいと要望も出ている。最初から改名ありきでなく、地元

を中心に幅広く意見を聞き十分検討されたい。

町長 藤並駅の名は、改名ありきでは絶対ない。今後、地元の意見を十分参考にして藤並駅名検討委員会をつくり検討してもらおう。このことは広報でも知らせていきたい。吉備インターの改名は有田市の有田商工会議所からの申し出であるが、有田川町は負担するつもりはない。



現在の藤並駅(来年3月末に完成予定)

まないのか。駅はできて特急が止まらなければ計画の意味がない。

町長 ホームの延長は計画決定している。特急停車も6月初旬に正式にJRの方から止めると連絡を受けている。今後は本数やダイヤなどをJRと協議していく。

財政・林業・入札・地滑り対策は



前 勢 利 夫

質問 厳しい財政運営が続いているが、「財政力」の強弱を測る指標としての「財政力指数」は、

町長 当町の指数は、0.316だ。極めて弱い。

質問 財政構造の弾力性を判断する「経常収支比率」は。

町長 93.1%だ。町村では70%が望ましいとされ90%を超えると赤字号とされる。

質問 18年度より導入された借金（公債費）の返済に充てる一般財源の比率「実質公債比率」は。

町長 3カ年の平均になるので、今のところ16%であるが、推移次第で黄信号の18%になる可能性が高い。

質問 今後どう対処していくのか。

町長 経常経費（人件費・公債費等）を減らすことに努め、同時に必要な投資的経費（公共事業

費・学校建築費等）を確保するため思い切った行政改革を進めていく。

質問 不況にあえぐ林業の中で、特に間伐材の状況は深刻だ。これを打破するために西ノ原木材加工場を設立して以来、1年余りになる。現在の操業状況の説明を求める。また、原木の林家（山主）への精算費は。

町長 今年度の国の森林保全整備（間伐事業費も含め）費は昨年の2倍、765億円が計上されている。県を通じ町としての受け入れ体制や担い手雇用対策は、県が本年度より実施する森林税（仮称）を京大演習林と提携し、林業研修を行っている有田中央高校清水分校に配分されるよう努力したい。

町長 平成18年度、木材加工場は若干の赤字が計上される見込みだが、状況はまだまだ厳しく、

特に間伐材については平均価格、杉14×16cm×3mで1㎡単価7千円で、その数量91㎡と低調だ。

今後の対策として作業道の整備、各種機械の導入強化等による伐採・出材コスト削減を図り、間伐事業のより一層の促進と加工の安定を目指していく。雇用については木材加工場に2名の増員と緑の担い手11名の体制をさらに拡大するよう指定管理者（森林組合）、県当局と連携しながら進めていく。



西ノ原の加工所で製作しているロープガードの活用例

質問 仁坂知事は「公営共調連検討委員会」を立ち上げ、「報告書」を骨

子として入札指針を県議会に諮ら（か）れている。当然、自治体として尊重されなければならぬ。山村過疎地域にとって、公共事業はかけがえのない主力産業であり、雇用・災害対策上の観点からも欠かすことのできない事業であり、自治法234条に

よる指名入札に基づく債務の履行責任が担保されやすい方式を特に遵守してほしい。その指名基準としてより一層の地域貢献度・技術面・施行能力等を考慮し、町独自の審査、格付けに万全を求めらる。

町長 地域の状況を精査した上で、法に基づき万全を期したい。

質問 災害は忘れた頃に必ずやってくる。山間僻地、急傾斜地保全に努められたい。

町長 国、県と連携し、治山治水・土壌崩壊流出防止に全力で取り組む。



明恵峡温泉の経営改善への 進捗状況を問う

森 本 明

質問 昨年9月議会の一般質問で、不振にあえぐ当施設の経営改革案を2、3点提案したが、改革は進んでいるのか。

町長 経営合理化を図り、収支の均衡に努めてきたが、思うようにはいっていないのが現状だ。今年からシルバー人材センターに委託していたお風呂の清掃も、従業員で実施し歳出の削減に努め、改革に取り組んでいる。今後は就労時間帯の重なる従業員の配置も考え人件費の抑制等、できる限りの改善をしていく。

質問 町財政も非常に枯渇している現状を踏まえ、行財政改革大綱5カ年実施計画を策定し、歳入・歳出の均衡を図るべく、156項目の細部にわたり見直すことになっている。また、国の法律で今後は財政健全化判断指標に基づき、4種類の財政指標の公表が義務付

けられ、それをクリアしなければ、財政健全化計画の策定や外部監査が必要となった。その中に特別会計、公社関係等の赤字も含み連結決算をしなければならぬので、のんびり構えることができない。

清水のふるさと開発公社の問題は3カ年計画の経営改革案を示し、黒字にするとの決意表明をいただいたが、明恵峡温泉の年間1200万円強の単年度赤字を、どのように考えているのか、今後



明恵峡温泉の休憩室



明恵峡温泉

の取り組みを問う。

町長 明恵峡温泉は町内温泉の中でトップクラスの施設であり、今後観光面で重要な役割を果たすと考えている。しかしこのまま赤字体質を放置するわけにはいかず、現状を打破するため、従業

質問 経営改善が進まないのであれば、全フロアを開放し、町民に限定し安い入浴料で、弁当持参で一日楽しく遊べる、癒しの福祉温泉にしてはどうか。

町長 明恵峡温泉の発足当時は、福祉目的の意気込みもあったと聞いている。大幅な経費等の削減が可能になれば、福祉型温泉も選択肢の一つに考えられる。

町内3温泉の経営状況にどう取り組む



殿 井 堯

温泉の経営改善策は

質問 町内3つの温泉は特に行政局長、産業課長が大変意欲を持って取り組んでいただいている。産業課長に今後の経営改善を問う。

産業課長 温泉の経営状況と今後の経営改善は平成18年度、単年度収支で明恵峡温泉の場合、1179万円の赤字、しみず温泉は821万円の赤



しみず温泉

字、二川温泉は、558万9千円の赤字になる。

経営改善について明恵峡温泉は、本年4月以降、22名体制で進め、人件費削減に努め、サービスの強化を図り、利用客の増加を図っていく。

しみず温泉、二川温泉は、企業診断士を入れ、改善策を実行しており、特にしみず温泉は、地域でいちばん多い集客をほこる施設で、接客サービスの向上、宣伝活動の強化を図り、収入の増加を目指す。

二川温泉は、隣接の宿泊白馬があり、連携を図ることに、集客の改善に努め、営業時間を延長するなど、積極的な経営努力をおこなう。

今後とも経費節減に取り組むなど、公社と協力し、考えていく。

質問 大変厳しい問題があると思う。行政局長、産業課長だけでなく、ま

ず地元の議員や住民、更に有田川町全体の住民の協力があつてこそできるものと思うが。

町長 温泉は、3年間で黒字にしていくという姿勢で、町全体の問題として、できるだけ赤字を出さない施設にするように頑張りたい。

廃プラスチック処理入札、その後は

質問 廃プラスチック入札後のその経過について、以前も質問したが、

今回当局の努力と委員会の努力により、この4月に入札した。その後、問題は起きていないか。

環境衛生課長 目立ったトラブルはない。環境衛生課では、1000項目ぐらいの分別ゴミ辞典をつくる準備をしている。

平成20年度をめどに作成したい。

質問 前年度と今年度、入札前と後でどれだけのメリットが生まれたか。

環境衛生課長 プラスチック収集業務は、810万1800円の減額である。

町長 プラスチックも回収日数が増えたが、安くなった。今後、資源ゴミについても改善できるところは、積極的に取り組む。



廃プラスチック収集車



町民の相談には十分な配慮を!

岡 省 吾

相談室の活用を

質問 近年、個人情報

の漏えい、プライバシーの侵害が深刻な問題となっており、国も個人情報保護法を制定し、その保護に努めている。行政として、もちろん遵守する立場にあるが、人権推進室に隣接する3室の相談室が空いているにも関わらず、吉備庁舎1階ロビーにおいて、町民みなさんの様々な相談に対応する職員の姿をしばしば目にする。

相談の内容はどうであれ、万人が集うロビーでの対応は個人情報・プライバシー保護の観点から配慮に欠けており、相談室をフルに活用することが当然でないか。

町長 個人情報保護は非常に大事なことであり、公共関係については、特に必要性を求められるところである。現状は、住

民に了承を得てロビーで対応しているが、相談を他人に聞かれたくないと言われる方には、相談室を使っている。非常に重要なことであるので、今後は、個人情報保護のためにも十分な配慮をしていきたい。



吉備庁舎1階 相談室

住民課長

住民課では

窓口で対応するもの、ロビーで対応するものと相談により様々だが、個人情報の保護に努め、今後相談室を利用しよう、また相談室が満室の場合、空いた会議室を活用しよう徹底していきたい。



「頑張る地方応援プログラム」への取り組みは

質問 国は今年度より

約3000億円の予算で「頑張る地方応援プログラム」として、全国各地から独自のプロジェクトを募り、認定されれば交付税による支援措置を講ずるとしている。1市町村につき、単年度3000万円を限度にこれを3年間措置するという。当町は「有田川の恩恵を受け、自然あふれる見事な景観」「いにしえより継承されてきた貴重な文化や伝統」、町はもちろんNPOも取り込まれている「地球に優しいエコロジーの実践」等、素晴らしい町である。しかしまだまだ整備や保全が必要である。この対策が急務であり、この事業は格好の施策だと思うが、今後の取り組みについて問う。

町長

この施策は、総務省から今年度発表され現在すでに、町として19年度に提出した長期総合計画案など、様々な項目にわたって国に応募している。当町はその応募に対して、内諾の返答をいただいている。また清水の計画も策定中であり、20年度に向け提出し、事業化していきたいと考えている。



みんなで作るまちづくり(イフストが調所府子より)

『ゆるキャラ』は観光に効果あり！！



東 武 史

質問

最近、テレビ

でも取りざたされている「ゆるキャラ」とは国や地方公共団体、その他の公共機関等がイベント、各種キャンペーンや村おこし、名産品の紹介などのような地域全般の宣伝などに使用するかわいい、やさしいキャラクターのこと。

例えば、人権イメージキャラクター「人KENまもる君」「人KENあゆみちゃん」や和歌山県警察のシンボルマスコット「きしゅう君」がある。

また、県とNPO和歌山観光医療産業創造ネットワークとの協力で、環境保護活動や和歌山の物産の認知、地場産業の活性化を任務とした「紀ノ国戦隊 紀州レンジャー」がある。現在タイ、ウメ、クジラ、ミカン、タチウオ、スミ、ピーチ、メハリズシ、キンザンジミノの9レンジャー

がイベントやテレビでも活躍し、関連グッズも数多く売られ、独自のホームページまで存在する。さらに旧金屋町では平成4年に公募で選定された「カーナ」があり、旧清水町においてはぶどう山椒の宣伝に「山椒ブラザーズ」が活用され、今年からJAの山椒の出荷箱に印刷され利用されている。

キャラクターの存在は上記で説明した「ゆるキャラ」が示すように多くの人にその地域や特産品を親しみやすくする効果を持つ。その中でも全国的に人気キャラクターとなっっているのが滋賀県彦根市の「ひこにゃん」これは、彦根藩主2代目井伊直孝公を雷雨から守ったとされる猫をモデルに、彦根城築城400年祭のキャラクターとして考案された。今や関連グッズは100種類を超える。インターネットでは

ファンサイトができ、商品がオークションに出される人気ぶりである。またイベントでは全国からファンが駆けつけている。

次にみなべ町の森林組合のイメージキャラクター「びんちようたん」は、当初作者が備長炭の熱質なユーザーで、この備長炭を用いたアニメキャラクターを、プライベートにインターネット上で掲載したところ、非常にアクセスが多く、作者からみなべ町に地域振興のためにと申し出があったそう。その後、さらに人氣が出たため漫画となり、テレビアニメにまでなっている。今やゲームソフト化し、世界的アニメブームに乗って、海外からのファンが時折みなべの地を訪れている。そのようにみると、「ゆるキャラ」は地域の知名度をより効果的にあげるとともに、観光振興にも大いに

有効な手段になりうるのではないかと。



山椒ブラザーズ(びんち山椒)

町長

旧金屋町時代の

「カーナ」、旧清水町の「山椒ブラザーズ」は知っている。夏の東京出張の折や、クールビズの際に紀州レンジャー(ミカン)のTシャツを着ている。キャラクターは観光にも効果があると聞く。7月には有田川町観光協会が発足するが、今後観光協会とも相談しながら、また町民のみならずとも相談しながら、「ゆるキャラ」製作に向けて検討したい。



まちづくり交付金事業の経過を問う

尾上 武男

藤並駅改築中の乗客の安全策を



解体中の跨線橋

質問 すでに高架化仮設通路（仮跨線橋）が完成し、既設の跨線橋の解体工事も始まり、東側からの乗降客に対して午前7時から午後7時20分までの間は、既設の障害者用スロープを利用すれば駅構内に入れると聞いている。しかし、午前5時30分から7時までと午後7時20分から11時前までの間はスロープを閉めているのでどのように対応

するのか。企業団地への通勤と大阪方面への通勤客が大変不便と感じる。また東側へ行くのに赤山踏切まで回らなければならぬ子どもたちや、女性の方々は大変危険である。仮設通路を使用できないか。工事中のホームの安全対策はどうか。また軌道敷の下を流れている水路が狭いため、大雨の時に氾濫するので改修できないか。

町長 藤並駅の東側か



藤並駅ホーム、仮跨線橋

らの対策について、地元の要望で朝夕のラッシュ時に混雑するので午前7時から午後7時20分の間、シルバー人材センターで人を配置して対応してもらっている。

ホームの安全対策は、保安員をおいて対応している。また軌道敷下の水路の改修は検討する。

地域交流センター、鉄道公園の計画と維持管理はどうか

質問 地域交流セン

ター・水辺の公園の計画は、厳しい財政状況の中でもあり、計画を先延ばしすることができないか。また鉄道公園もすでに工事が始まっているが、完成後の維持管理をどのようにするのか。財政破綻になれば住民に大きな負担がかかってくる。町長の考えはどうか。
町長 地域交流センター・水辺の公園、鉄道公



建設中の鉄道公園

園は、財政は厳しい中だが、まちづくり交付金事業のメインであり、事業を縮小してでも進めていく。

町民が気軽に遊べる公園や公共サービス施設が不足している。また道路の歩道が十分でないので通勤や通学時には危険であるため、歩道専用道路を整備していく。

各施設の維持管理は、各課で協議し進めていく。また地元のボランティアの人々とも協議していく。

鹿の被害は今や甚大、何らかの対策を!



坂上 東洋士

質問 中山間地域の多

いわが町においては、今や鹿やカモシカ等による被害は甚大である。せっかく杉や桧を植林しても、鹿や天然記念物であるカモシカに苗木を食べられてしまう。

長期にわたらねば収益を上げられない林業経営者や森林の育成に携わる者としてはその意欲をそがれる結果となる。

原因は1町の山林を植林するのに苗木が450



皮をはがされたスギ

0本ほど植栽せねばなら

ず1本当たりの値段が60円〜70円するので、これだけでも約30万円の費用がかかる。その上に苗木を植える前には地こしらえもせねばならず、また苗木を持ち上げる費用もいる。日当を1万5千円〜2万円としても、おおよそこれらに係る費用に約100万円かかることになる。それだけの費用をかけて植林した後、カモシカ等に食害されるこ

とは大変悲しいことであり辛いことである。

動物愛護や種の保存ということで、カモシカは雄雌とも捕獲が禁じられている。日本鹿も雌の捕獲は禁じられている。人間の生活が大

事なのか動物の種の保存が大事なのか。上級官庁にも現状を訴えるとともに、町当局として早急に現状の分析と今後の対応策について研究や検討を求めたい。

町長

全国での鳥獣被害は平成16年調査では、7400ha。その内、鹿の被害はその5割強の3850haと聞いている。

このため国の方でも今年度より雌鹿の狩猟が解禁となっている。

わが町での昨年度の鹿の捕獲は229頭となっている。(有害駆除も含む)今後とも有害駆除の



防護ネット

期間をもっと延ばし、町単独の捕獲奨励金も継続して鹿の被害を少なくするよう努めたい。申すに及ばず猟友会のみならず方のご協力をお願いしたい。また造林事業の中には、防護ネット設置事業というものがあり、これらの活用も林家(山主)に対して啓発し普及に努めていきたい。

その他、訴訟についての現状報告、明恵峡温泉について、成人式の時間設定の結果、砂利採取の取り組みについても質問しました。



出産も子育ても社会全体で見守りたいね

堀江 眞智子

子育て支援への取り組みを全力で

質問 妊婦健診の公的補助について、助成の内容や申請の方法をいつ知らせるのか。今年度の予算は何人で、どのくらいを予算をたてているのか。また窓口負担をなくすことや、第1子から町独自での施策を求める。

町長 県での新規事業として取り組んでいる。上限8万1千円で、4月にさかのほり支払う。他の市町村と一緒に考え、窓口負担をなくすことや、第1子や第2子も同じように負担がなくなるように考えたい。

質問 保育時間を、全体的に延長することを求める。また、お迎えまでの時間に子どもが、教室外に出て並んで待つ体制をとっている保育所があると聞く。保育者からは「遅くまで待つことにな

る子どもは、かわいそうに思えるからなんとかできないのか」との声を多く聞いている。お迎えまでの間、教室で待つ体制を取るべきではないか。



種彦保育所

った保育サービス（相談や日曜保育、一時預かりなど）の周知徹底を求める。

町長 小児科などにもお知らせ（チラシ）を置かせてもらっている。一般の方にも知ってもらえる体制をつくる。

プライバシーの保てる相談室の設置を

質問 町民が役場にきて相談をする場合に、プライバシーが保てるように、声が外に漏れないよう、また顔が見えないように個別の相談室を設置するように求める。また多重債務に陥った場合など、生活再建のために必要な情報提供や様々な方法を親身になって考える体制、そのための相談室との認識を持っていただきたい。

町長 プライバシーの保護に努める。重要な相談については、個室での

対応をしていく。また多重債務の方にも適切な対応をしていく。

すべての小・中学校に校務員の配置を

質問 清水地域の小・中学校に校務員のいない学校がある。全校に配置できる体制をとっていただきたい。

教育長 教師の実労働時間の調整をし、早く出勤した場合は、その分帰る時間の調整をお願いしたい。



資源ゴミの収集はどうなっているのか!



西 弘 義

質問 プラスチックの収集は入札となり、町の支出が削減された。しかし、プラスチック以外の資源ゴミは現在、有田再生資源協同組合に収集・処理委託をしている。これは吉備地区、金屋地区のことであって、清水地区は入っていない。清水地区はどのような収集をしているのか。

町長 資源ゴミの収集は清水地区全体で協力して収集している。ある程度集まったところで、各地区が分別して職員が運んでいる。資源ゴミのトンあたりの諸経費は吉備・金屋・清水の中で、収集に補助金を出している清水地区が極端に安くなっている。このことは、清水地区全体で協力し、資源ゴミの不純物を除去するなど、きめ細やかな分別をしているからである。

質問 3町合併して一つの町になったのだから、



有田川町プラスチック収集場

資源ゴミの収集も組合委託ではなく、清水地区の収集方法も含め、入札制度を選択肢に入れて取り組むほうが良いのではないか。

町長 今後、吉備地区・金屋地区でも清水地区の収集の方法を導入したいと考えているが、地区全体が協力してくれなければできないので、清水地区の方法が良いのかどうか、区長会に提案したい。19年度は、組合委託契約を6ヶ月間としている。

今後は入札制度も視野に入れ、できるだけ早く方向を出したい。現在、吉備地区では、田口区、船坂区で清水地区の収集方法を取り入れて、完全分別をしている。

質問 ペットボトルの処理は組合委託になっているか。また年に何トン収集しているのか。どこで何トン処理しているのか。

町長 ペットボトルの収集は吉備地区、約21t。その内の約15tを田辺のリサイクル業者に。金屋地区、約11t。その内の約3.5tをそれぞれ同リサイクル業者に運んで



ゴミ収集車

いる。清水地区は約5tを町内業者と、組合で処理している。収集量と処理量が合わないのは、資源ゴミにならない数量と契約になかった処理による数量約4tである。この契約になかった処理をした業者には、行政指導をし、町が受けた損失を負担させた。



価格と品質の両面で優れた公共工事を ～業者選定とチェック体制を問う～

浦 博 善

**技術職員の育成強化
が必要でないか**

質問 工事ミスや手抜き工事を厳しくチェックすることができず、職員がいなければ、粗悪な工事や成果品が提出される恐れがある。専門業者と互角に話ができる技術職員の存在が不可欠であるが、そのような職員を育てるには10年以上の経験が必要である。今すぐ技術系職員の育成を強化していく必要があるのではないか。

町長 公共工事において書類等を精査できる技術職員が重要になってくる。今後は技術職員の採用などについて努力していく。

**地元業者の
定義は何か**

質問 事業所の電話は転送であり、営業一人を配属しているがほとんど



地籍調査の状況

留守である。仕事がある時だけ滞在する宿泊所のような営業所があるだけの業者を地元業者と呼ぶのは問題があるのではないか。

副町長 これは呼べないと思っっている。

**審査方法は書類審査
が原則である**

質問 入札参加資格審査会は「競争入札参加資格審査申請書」に記載されている事項を基に公正・慎重に行われなければならぬことは言うま

でもない。また変更事項が生じれば、変更届の提出を求めるなどの行政指導を行うべきである。口頭のみの確認で審査をおこなったようだがこのようなことでよいのか。

副町長 申請書で確認し難い場合は、そのつと必要に応じて調査し口頭で確認していた。今後は書類審査を原則とし、申請内容に変更があれば行政指導を行うように改める。

**個人情報の保護は
行政の責務である**

質問 地籍調査は個人の財産を測り資産を確定する業務であり、個人情報保護が何よりも優先される業務である。情報保護に対して万全の対策を行っている業者に限り、指名を行うほうが良いのではないか。

万一事故が発生した場合は、その業者を指名し

た行政の責任が問われるのではないか。

副町長 審査の段階でこの項目については、審査の対象外であった。情報の守秘義務は業者の責任であると契約事項に定められている。事故が起こった場合は、発注元である町にも責任はあると考えている。

町長 審査会の報告は全面的に支持していた。しかし、今回指摘された不備な点については、今後きちんと精査し、二度とこのようなことがないようにしていきたい。



境界杭の設置状況

有田川、鳥尾川の河床と 堤防の強化はどうか



湊 正 剛

質問 この質問は、平成7年に私が議会に参加させてもらって以来、複数の同僚議員とともに本年まで強く要請してきた。しかし、堤防強化の進捗状況は、あまり進んでいない。ようやく昨年度より有田川高速橋から上流の田殿橋において、3カ所で合計3万3千㎡の土砂を初めて取ったが、これはほんの一部に過ぎない。今後の計画はどうか。

次に、昨年の堤防でのボーリング調査の結果と浄教寺裏のブロック補強だが、わずか数十メートルの改修に過ぎず、2年間も中断しているが、継続する状況になっているのか。尊い人命と貴重な財産を守るのが、行政の責務である。

また観光資源である鮎にも悪影響をもたらし、釣り客も毎年減少の一途である。有田川、鳥尾川の抜本的な改修を県・国

に対し強力に働きかけられたい。

町長 土砂を取り除くことについては、今年1万3千㎡を請負契約済みである。永年の被害を多少でも減少させるためにもダムの貯水を常時調節してもらっている。河川問題は、更に強力に県・国へ働きかけていく。

建設課長 昨年のボーリング調査は、JR鉄橋より丹生の中央大橋の間に左岸3カ所、右岸2ヶ所を調査している。現在その結果待ちになっている。

また浄教寺裏のブロック補強は、県河川課・建設課に現場視察を要請し、視察の日程が決まれば連絡したい。またその他の箇所についても努力する。



土砂の堆積が心配される有田川



政府の「増税にならない」 というのはごまかしだ

増 谷 憲

住民税増税での負担 増における対策は

質問 今回の増税で負担増の試算はどうか。政府は住民税と所得税の関係で差し引き増税にならないと宣伝しているが、昨年と今年の所得が変わらないことが前提だ。失業や賃金カットされた労働者、仕事が減った派遣社員やフリーター、今年から年金生活になった高齢者や育児休業にはいった労働者は、所得が減少するから増税になる。平成18年度の地方税法改正で収入が激減した人の一部を救済する経過措置ができた。平成19年所得がゼロの場合、平成18年度の住民税額を改正前の税率で計算した額まで減額できる。ただし、来年の7月1日から31日の間に納税者本人から町への申告が必要で周知徹底を求め

る。
税務課長 平成18年、19年中の所得の変動による経過措置はその通りである。この措置は平成19年度住民税のみ適用される。
質問 地方税法の経過措置の対象外になる方への救済を求める。例えば、退職又は所得が減った場合、仮に合計所得金額400万円以下で、その減少割合に応じ、住民税額を3割、4割から全額まで免除、町税条例51条との関係でぜひ検討を求め

る。
税務課長 町民税の減額は、町税条例51条で、まず生活保護法の保護を受ける者、その年に所得が皆無になり生活が著しく困難になった者等を減額する。
質問 高校授業料が減額されている世帯も減免からはずれる場合がある。減免をしていなければ県へ要請を求める。
教育長 高校授業料の免除は、聞いていない。
質問 介護認定を受けている高齢者は障害者手

帳がなくても、「それに準ずる」と町長が認定すれば、税法上は障害者として扱われる。障害者控除の対応とその周知徹底を求める。
税務課長 障害者控除は、介護保険法の要介護、要支援の認定を受けている方で、その者が障害者に準ずると町長の認定を受ければ、障害者控除ができる。ただし町長の障害者控除認定書等の交付を受けることが前提である。

福祉課長 障害者控除が受けられるよう検討中である。
6月・9月の暴風雨、土砂災害による農作物の被害に関する対策は
質問 私は6月8、9日の暴風雨と雹による農作物への被害と土砂災害での被害状況を調査し、中山町長とJAありだに被害対策を申し入れた。支援策として県や有田都市の各自治体と農協

の広域で、みかんやうめなど主要品目を決め基金を積み立て被害が出た場合、一定の基準での見舞金制度はどうか。更に、今後の身近な対応策として、①雹は通年で6月に降ることが多い。気象情報等をつかみ被害が出そうな時期への注意喚起の啓発。②栽培時期の調節。③防雹ネット（多目的防災網）への補助はどうか。④融資制度は、利息分を町で負担し、据え置き期間の実施はどうか。
国道424号、修理川地内の暴風雨による土砂崩れが起こった。梅雨時期に備えて、万全な防止策を求めたい。
町長 いろんなご提案をいただき参考にした。土砂災害の対策は、早急に県と協議する。

その他、長期総合計画と合併で決めたまちづくり計画との関係、急傾斜対策、コミュニティバス、金屋地区の道路整備についても質問しました。



藤並神社 秋祭り (写真提供: 西本登信氏)

意見書

◎国道424号有田川町
→海南市間の整備促進
に関する意見書
提出先 和歌山県知事

◎日豪EPA(経済連携協
定)交渉に関する意見書
提出先 内閣総理大臣

◎道路整備の促進と財源
確保に関する意見書
提出先 内閣総理大臣

おわびと訂正

議会広報第5号の中
で、6ページの写真説
明において「なかなか
工事進行が進まない」
との説明は、行政の取
り組みを問うものであ
り、施工業者の責任を
問うものではありません。
まさらわしい表現
がありましたことを謹
んでお詫び申し上げま
す。

議会広報特別委員会

編集後記

6月、梅雨時季の花
といえは紫陽花です。今
年初めて金屋地区吉原で
「あじさい祭り」が開催
(あじさい祭り実行委員
会主催)され、盛況でし
た。しかしこの6月は、
農家にとって大変なこと
になっていきます。雹が降
り、突風が吹き、収穫前
の桃や梅等に被害が出ま
した。ミカンも例外では
ありません。農家の方々の
心情を思うと心が痛み
ます。ジメジメした梅雨
が終わわり、やがて暑い
日々がやってきます。今
年は猛暑だと聞いていま
すので、身体の変調には
十分お気を付け、お身体
をご自愛下さい。

(西 弘義)

お問い合わせ
吉備庁舎4階
☎5212111
議会事務局まで